

森にも人にも優しい「カートカン」



カートカン

自動販売機やコンビニエンスストアやスーパーマーケットで販売されているカートカンをご存知ですか。紙で作られた飲料容器であるカートカンは、間伐材を含む国産材を積極的に利用し、日本の森林育成に貢献しています。森にも人にも優しい「カートカン」を特集しました。

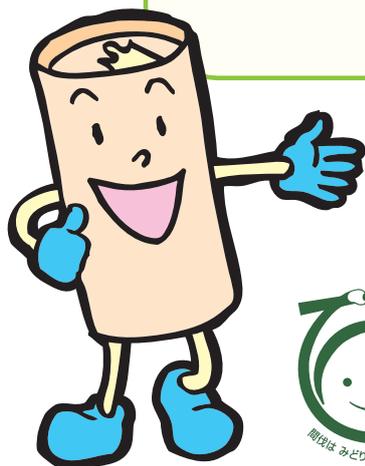
カートカンはヨーロッパで開発され、日本でも独自改良を加え1996年に導入されました。現在販売されているカートカン容器の背面には、「緑の募金マーク」や「間伐材マーク」が印刷されているものがあります。こうしたマークは、間伐材や国産材を利用して作られた製品を証明するものであり、カートカンの材料には、間伐材を含む国産材を約30%以上使用されており、国内の林業の活性化、健全な森づくりに寄与しています。

森林を整備する過程で出てきた間伐材や端材を有効活用した飲料容器の普及から、日本の森林づくりに貢献することを掲げている「森を育て紙製飲料容器普及協議会（もりかみ協議会）」は、関連企業・団体と協力し、カートカンの利用を推進しています。

よく、紙製飲料容器の内側には、アルミ箔が使用されていますが、カートカンの場合は凸版印刷（株）により独自開発された透明のG-Lフィルムを容器の内側に使用しています。そのため、紙パックと同様にリサイクルが可能で、再生紙としてトレットペーパーなどに再利用されています。カートカンはこうした環境特性が評価



「カートカン」紙製環境飲料容器 4つの特長



リサイクル可能

本体は飲用後、洗って切り開いて紙パックとしてリサイクルして下さい。



国産材の利用

木づかい運動をはじめとし、国産材の活用を推進するマークです。



間伐材の利用

「間伐材マーク」は間伐材を利用した製品であることを表示し、間伐や間伐材利用の重要性などを広くアピールします。消費者の方々の製品選択に資する目的で商標登録されたマークです。



緑の募金

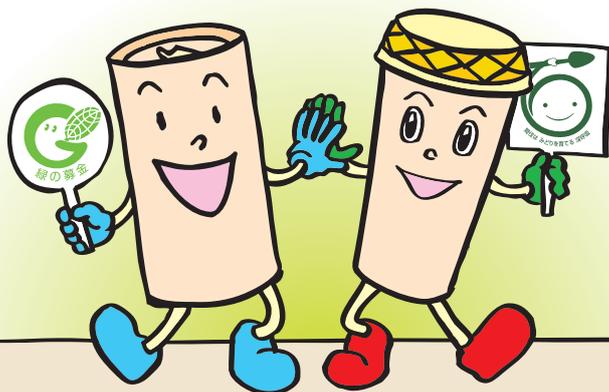
カートカンは、売り上げの一部を「緑の募金」に募金しています。このお金は森林整備を行うボランティア団体などの活動資金として活用されます。

され、「第3回 エコプロダクツ大賞 エコプロダクツ部門 農林水産大臣賞」も受賞しました。さらに、G Lフィルムの高いバリア性能によって常温での長期保存が可能になりました。また、無菌充填(高温短時間で殺菌した中身をすぐに冷却し飲料容器に入れるやり方)を採用しているため、中身の飲料が高温によって変化することが少なく、味や栄養分を損なわずに保つことができるといっても過言ではありません。

カートカンは他の紙製飲料パックと比較し、軽量かつ強度性があるため、様々な場面で積極的な導入がされています。病院や小さい子どもが走り回る場所では、床に落ちていた金属缶に足を滑らせ、転倒や怪我をする場合があります。一方、カートカンは、力があまりないお年寄りや小さな子どもでも簡単に踏みつぶすことができ、強度を保っているため、上記のような施設での利用に適しているのです。

さらに、カートカンの円柱形状は小さな子どもでも握りやすく、缶の上部に空洞があることで中身がこぼれにくい構造になっています。このように、カートカンはこどもにも優しいデザインであることから、2008年にはキッズデザイン賞も受賞しました。

カートカンの認知度は年々高まってきており、年々数量が増加しています。これらのカートカンの売り上げの一部は、「緑の募金」に寄付され、森林保全活動の資金として使用されています。国産材・間伐材を使用している製品の積極的な利用は、国内の森林整備や林業の活性化につながります。ぜひ自動販売機や食料品店で、カートカンを探してみてください。



木づかいサイクルマーク



再生可能な木材の利用を推進することは、枯渇資源の利用低減にもつながり、CO₂をはじめとする温暖化ガスの発生を抑制することができます。木材、紙は再生紙や古紙として利用をくり返し行えます。

エコプロダクツ大賞マーク



森を育む紙製飲料容器の利用は街の中でも自然にエコロジーを感じ、たった一人でも手軽に森林づくりに貢献できます。